

# 代表質問

## 日本共産党

清水みな子

金子 貞作

高坂 進

やなぎ美智子

廣田 徳子

高坂 進

### 通学路の安全対策

**問** 令和3年6月、八街市で下校中の児童がトラックにはねられ、2名が死亡、1名が意識不明の重体、2名が重傷を負った。これを受け、同市では、事故があった道路を狭くし、歩道を確保するための補正予算を可決したとのことだが、本市における通学路の安全対策の現状及び県道が通学路に指定されている危険箇所

の状況はどうなっているか。  
**答** 本市では当該事故を受け、同年7月26日より市内公立小学校及び義務教育学校の39校における通学路の緊急一斉点検を実施した。その結果、安全対策が必要な箇所が184カ所あり、その中に国道3カ所、県道21カ所も含まれていたため、国・県に対して対策を施すよう要望すると共に、連携して、危険箇所への対策に取り組み他、対策実施後の効果検証の結果を3年度末に教育委員会ホームページ

## 立憲民主・社民

中町 けい

かつまた竜大

つちや正順

### 抗体カクテル療法等の推進

**問** 現在、新型コロナウイルス「デルタ株」の感染が拡大している。「デルタ株」は、感染力が強く増殖のス

ピードが速いとされ、何らかの対策が急務であるにも関わらず、遅々として進んでいない。そこで、中等症患者の重症化予防に効果があるとされる「抗体カクテル療法」や「レムデシビル」の投与の推進が有効と考え

### 養護老人ホーム いこい荘

に公開する予定である。

**問** 養護老人ホームいこい荘は令和6年に建て替える

と聞いているが、周辺の住民にとって、当該施設の建て替えや周辺の崖地の整備手法等は非常に関心が高いことと思われる。そこで、当該施設の建て替えスケジュール及び周辺の崖地の整備手法等について、市の今後の方針を問う。

**答** 養護老人ホームいこい荘の建て替えのスケジュールは、3年度から5年度に南東斜面地の整備工事として、測量、地質調査、実施設計、工事を完了させた後、6年度に施設を除去して、7年度以降に社会福祉法人により、医療と介護の連携による地域の在宅介護を支えるためのサービスを提供する、新たな施設が整備される予定である。崖地については、現在現況測量を終えて、地質調査を実施しているが、整備手法等については、この調査の結果等に基づき、設計に着手した段階で検討していく。

### ワンストップサービス

**問** 本市のワンストップサービスについて、「以前より良くなった」、「以前と比べ全然良くなった」、「等」両極端な声が市民から寄せられている。同サービスについては、令和3年6月定例会においても取り上げら

れており、現在は何らかの変化があると考え。そこで、同サービスの現状と課題について市の認識を問う。

**答** 複数課にまたがる手続きの場合、同サービスの流れに沿うことにより1カ所で完了し、1つの課で手続きが完了する場合は、専用ブースを設置し手続きが迅速に終了するようにしている。このように状況に合



令和3年1月に開始されたワンストップサービス

### 保育士のワクチン優先接種

**問** 現在、本市の若い保育士の多くは新型コロナウイルスのワクチン接種が未了である。当該保育士は、人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている。いわゆるエッセンシャルワーカーに当たるため、ワクチンの優先接種を受けられると思うが、本市における保育士のワクチン接種はどのようになっているのか。

**答** 令和3年6月初め、国が職域接種の受け付けを開始したため、申請を行う準備を進めていたが、その後受け付けが休止となった。しかし、保育士については子どもなどへの感染の影響を考えると少しでも早く接種を進める必要がある。本市では市内5カ所の集団接

### コロナ感染者の救急搬送

**問** 新型コロナウイルスの新規感染者急増に伴い、医療体制が逼迫している。昨今救急搬送困難事例が大きく取り上げられているが、それ以上に、医療が直接関わっていない不搬送は重大かつ深刻な問題であると考える。そこで、本市において

種会場において、当日キャンセル分を優先して保育士に配分することで対応してきた。8月に入り、ワクチンの供給量の目途が立ったことから、9月3日より、保育士に対する優先接種を正式に開始している。

**答** 本市におけるコロナ陽性者に対する不搬送の件数は、令和3年7月と8月の2カ月間で297件、陽性者へ出動した件数の52%で、同期間に不搬送となった一般の救急事案の約3倍である。また、同年7月からは保健所が入院優先度判断基準に基づき陽性者のトリアージを行っており、自宅待機と判断した場合に不搬送となる。このような場合、傷病者に容体の急変や症状の悪化があれば救急要請をするように伝え、急変時の早期対応と傷病者の心情等に留意して対応している。

### ごみ集積所の感染防止策

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、自宅療養者が増加する中で、一部の自宅療養者からは自分達がごみ集積所に出したごみ袋が破けるなどした場合、他の利用者やごみを回収する清掃作業員が感染のリスクに晒されるのではないかと不安の声も聞かれる。そこで、ごみ集積所における

感染リスクの低減に向けた市の対策について問う。

**答** 本市では、ごみ集積所における感染防止策として、家庭ごみの捨て方について、環境省が作成したリーフレットを活用し、市公式ウェブサイトや広報紙等により市民に対する周知・啓発に繰り返し努めてきた。また、清掃作業員に対し、関係団

新型コロナウイルスなどの感染症対策のための  
**ご家庭でのごみの捨て方**

— 家庭ごみを出すときに心がける5つのこと —

- 01 ごみ袋はしっかり縛って封をしましょう!
- 02 ごみ袋の空気を抜いて出しましょう!
- 03 生ごみは水切りをしましょう!
- 04 普段からごみの減量を心がけましょう!
- 05 自治体の分別・収集ルールを確認しましょう!

出典：環境省ホームページ (https://www.env.go.jp/recycle/waste/sp\_contr/infection/coronakoho.html)  
 「新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方 ～家庭ごみを出すときに心がける5つのこと～」をもとに作成

新型コロナなどの感染症対策のための家庭ごみの捨て方

体を通じて感染防止方法の指導を行うと共に、マスクやフェイスシールドを配布している。今後もごみ集積所における感染リスクを低減すべく、このような対